



第2回岡山赤十字 救急法競技大会に参加 ～心肺蘇生部門で1位～



平成28年1月31日、岡山赤十字看護専門学校体育館において、日本赤十字社岡山県支部主催の第2回岡山赤十字救急法競技大会が開催されました。岡山県下の中学校・高校・病院・県警・ボランティア団体などから、10～70歳代の22チーム約70人が参加し、三角巾を使ったけがの手当ての正確性を競う「包帯リレー部門」、心肺蘇生の手順や適切なAED使用の一連の流れを競う「心肺蘇生部門」の2部門で白熱した競技が繰り広げられました。

岡山赤十字看護専門学校の生徒も3チーム9名が参加しました。今回はチーム「bandage woman」が心肺蘇生部門で1位をいただきました。また、チーム「うめぼし」が心肺蘇生部門で敢闘賞、1年生の緋田瑞咲さんが赤十字クイズで1位をいただきました。

包帯リレー部門



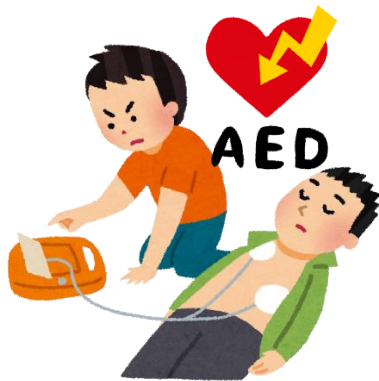
包帯リレーでは、休み時間を使って普段から練習していましたが、本番ではすごく緊張しました。手当ての保護ガーゼが落ちてしまうなどのハプニングも起きましたが、看護学生らしく、声かけを意識した手当てを心がけることができました。



心肺蘇生部門



多くの人が見ているなかで、また評価されるということでとても緊張しましたが、赤十字救急法に則り、実際に人が倒れていると想定しながら真剣に取り組むことができました。



チーム「bandage woman」
「うめぼし」「寮生」の面々

赤十字クイズ

クイズ
第1位



赤十字クイズで最後まで残り景品をいただきました。クイズは救急法のことや医療に関すること、またハートラちゃんの問題など様々で、一緒に参加した友達らと相談しながら挑戦しました。授業で学んだこともいくつか出題され、復習にもなりました。この大会に出るのは少し不安でもありましたが、参加したことで多くの収穫もありました。技術や知識をさらに向上させていきたいと改めて感じました。(緋田瑞咲)



たくさんの人の前で、三角巾や心肺蘇生法をするのはとても緊張しましたが、チームのみんなでたくさん練習したので、普段通りすることができました。3人でとにかく優勝を目指して頑張ってきたので、心肺蘇生部門で優勝できて本当にうれしかったです。この大会に参加できたことで、知識や技術を楽しみながら向上させることができ、また優勝できたことで自信を得ることができました。来年も2連覇目指して頑張りたいです。

(渡邊絵梨香・曳野千夏・黒原千桜)



心肺蘇生部門第1位
チーム「bandage woman」



心肺蘇生部門敢闘賞
チーム「うめぼし」

敢闘賞



大会前には放課後に包帯法の練習をしたり、先生方にアドバイスをもらいました。当日はきびきびと動く警察学校の人達に圧倒されましたが、他チームの仲間と応援し合い、練習の成果を発揮できるよう頑張りました。心肺蘇生部門では敢闘賞を頂くことができ、もっと腕を磨いていこうと思います。また参加する機会があれば、包帯リレー部門でも結果が残せるよう頑張りたいです。今回の大会の参加は、実際の現場で心肺蘇生や包帯法を行うときの自信につながると思います。

(緋田瑞咲・小郷愛奈・直江心)